

経済学部主催ワークショップ

「経済学者たちの日米開戦」を論じる

本学経済学部の牧野邦昭准教授は、このほど『経済学者たちの日米開戦 秋丸機関「幻の報告書」の謎を解く』（新潮選書）を刊行されました。

日米開戦については、これまで数多くの歴史家、思想家、政治学者が分析を重ねてきました。ただ、当時のトップクラスともいえるべき経済学者が、日米開戦に対してどのような役割を果たしたのかについては、ほとんど論じられていません。

牧野准教授は、文献を丹念に分析、さらに行動経済学の理論を適用することにより、こうした問題に新たな視角から分析を試みられています。刊行以来、いくつものマスコミの注目するところとなり、多くの書評・インタビューが行われつつあります。

今回のワークショップにおいては、著者である牧野准教授に本著の概要を報告願うとともに、慶應義塾大学から細谷雄一教授にコメントをお願いし、本著の意義、さらには社会科学者の役割を改めて考えてみたいと思います。皆様の積極的な参加を期待しております。

◆開催日時：2018年12月14日(金) 15時00分～16時30分

◆場 所：摂南大学 寝屋川キャンパス プチテアトル(10号館3階)

◆プログラム：

15:00~15:10	開会の挨拶：八木紀一郎(学長)
15:10~16:00	「経済学者たちの日米開戦」—その概要について—
	牧野邦昭准教授 (本学経済学部)
16:00~16:20	コメントとディスカッション
	細谷雄一教授 (慶應義塾大学)
16:20~16:30	参加者とのディスカッション

◆司会：久保廣正 (経済学部)

◆討論者の紹介

細谷雄一教授：1971年生まれ。慶應義塾大学大学院法学研究科博士課程修了。博士(法学)。専攻は国際政治学、外交史。『倫理的な戦争』（読売・吉野作造賞）など著書多数。最新刊は『【戦後史の解放Ⅱ】 自主独立とは何か』。

以上

【本件にかかる問い合わせ先……経済学部事務室(072-839-8120)】